

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
まちづくりの方向性	<p>「長寿の里」、「子育て・子育ての町」として、子どもから高齢者まで、誰もが、豊かな自然環境と生活環境の中で、健康で安心して暮らすことができ、さらに、住環境、子育て・子育て環境、教育環境を充実することにより、「生活の質」の向上を図ります。</p> <p>そのため、町民の知恵と努力がまちづくりに活かされるとともに、町民同士の協力と支え合いにより、地域コミュニティが息づくまちづくりを進めます。</p> <p>また、「生活の質」を向上させることにより、子育て世代を中心に定住人口の確保に努めます。</p>

取組状況

	重点的方針	内容	実績の推移			備考
			H25	H26	H27	
1	高齢者の安心な暮らしの支援	「長寿の里」として、高齢者等が生きがいを持って健康に、住みなれた居住地で暮らし続けることができるように、町民同士又は町民と行政の協力・連携により、高齢者等の暮らしをみんなで支え合うまちづくりに取り組みます。	B	B	/	
2	子育て・子育て支援と教育学習環境の充実	町の特徴を活かして、「子育て・子育ての町」として、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりをさらに進めていきます。・子どもたちの生きる力を育むために、学ぶ力の育成と体力の向上に取り組みます。福祉、教育部門だけでなく、行政の様々な部門が連携して総合的な取組を行います。	A	A	/	
3	協力と支え合いによる福祉のまちづくり	二宮町社会福祉協議会など地域の多様な福祉活動の担い手と連携しながら、基本構想の「3つの理念」で掲げる「地域の力」によって支えられる地域福祉の充実を推進します。 生涯学習や町民が「ふれあい農園」や家庭菜園を通して農業と親しむなど、様々なまちづくり施策と連携した取組を進めるとともに、調整や橋渡し役として行政のコーディネートの機能の充実化を図ります。	B	B	/	
4	子育て世代の定住促進	住み良いまちづくりを推進することにより、「生活の質」を向上させ、誰もが「住んで良かった」と言える町にするとともに、地域全体で子育てを支援することにより、子育て世代を中心に定住者の増加に努めます。	B	B	/	

町民満足度調査の結果 重要度 100 重要 75 やや重要 50 どちらとも言えない 25 あまり重要でない 0 重要でない

満足度 100 満足 75 やや満足 50 どちらとも言えない 25 やや不満 0 不満

	設問内容	重要度		満足度		重要度と満足度の差
		前回調査	H27	前回調査	H27	
	高齢者の安心な暮らしの支援		81.4		53.2	28.3
1	高齢者の社会参加の支援		78.0		53.5	24.5
2	介護予防・生活支援サービスの推進		85.5		53.3	32.3
3	介護サービスの充実		87.3		55.0	32.3
4	雇用機会の充実の検討		75.0		47.8	27.3
5	保健サービスの充実		80.8		61.0	19.8
6	地域医療の充実		85.5		52.0	33.5
7	社会保障制度の普及・啓発		78.0		51.0	27.0
8	社会保障制度の適性な運用		81.3		51.8	29.5
	子育て・子育て支援と教育学習環境の充実		80.7		53.2	27.5
1	母子保健の充実		84.0		59.0	25.0
2	出産支援の充実		83.0		56.0	27.0
3	保育環境の充実		82.8		50.8	32.0
4	「親育ち」の充実		73.0		50.3	22.8
5	学童保育所の充実		82.0		52.8	29.3
6	教育内容の向上		81.3		50.3	31.0
7	教育環境の整備の推進		84.0		49.8	34.3
8	安全・安心な教育施設の整備		84.8		54.8	30.0
9	教育活動の充実		77.3		55.0	22.3
10	地域間交流		75.0		53.5	21.5
	協力と支え合いによる福祉のまちづくり		75.4		50.0	25.4
1	二宮町社会福祉協議会との協力・連携		71.0		51.3	19.8
2	相談・情報提供の充実		76.0		48.5	27.5
3	地域福祉の充実		75.8		50.5	25.3
4	相談・情報提供の充実		78.3		50.0	28.3
5	就労・社会参加の促進		79.0		49.8	29.3
6	住宅支援の推進		80.0		49.5	30.5
7	ユニバーサルデザインの普及		72.0		48.3	23.8
8	コミュニティ活動支援		71.3		52.0	19.3
	子育て世代の定住促進		77.5		51.8	25.8
1	子育てサロンの充実		79.3		55.0	24.3
2	子育てコミュニティづくりの推進		79.5		52.8	26.8
3	住まいの確保・住環境の整備・誘導		73.8		47.5	26.3

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある D: 政策全体を見直す必要がある</p>	B
	<p>説明</p> <p>基本構想「生活の質の向上と定住人口の確保」における4つの施策「高齢者等の安心な暮らし支援」「子育て・子育て支援と教育・学習環境の充実」「協力と支え合いによる福祉のまちづくり」「子育て世代の定住促進」について、町民が重要と考える割合と満足度の差に着目すると、「高齢者等の安心な暮らし支援」「子育て・子育て支援と教育・学習環境の充実」の2つの施策について、重要度と満足度の差が大きい。また、個別事業では、介護予防・生活支援サービスの推進、介護サービスの充実、地域医療の充実、保育環境の充実、教育環境の整備の推進について、重要度と満足度の差が大きく、さらなる取り組みが求められる。</p> <p>今後、団塊の世代が全て後期高齢者となる2025年に向けて高齢者が住み慣れた場所で安心して生活を続けられるよう、町民や町民団体、関係機関と共に環境整備に努めるとともに、子育て環境や教育環境の整備に努め、多様な世代の転入増加を目指し、住みたい町としての発信力の強化と、転入動機となるような事業展開が必要である。</p>	

外部評価[まちづくり評価委員会]		
	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある D: 政策全体を見直す必要がある</p>	
意見等		

町の最終方針[庁内評価委員会]		
	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある D: 政策全体を見直す必要がある</p>	
方向性		